



第47号

発行所
水沢竜ヶ馬場
水沢高校同窓会
☎0197-24-3151



昨年11月に事務長さんから「学校周辺の桜と松を伐採したいので説明に伺います。よろしいでしょうか？」とありました。急な話な



同窓会長 長野耕定

ら樹木の伐採の判断まで同窓会に相談されてもどう答えようか悩むところでした。

まず思ったのがシーズンになると広大な敷地の周りを囲むあの満開の桜でした。同窓生にとって、この満開の桜は水高を思ったときにはイメージとして表れる風景の一つではないかということでした。

話を聞くと松は大分伸びてきていて、しばらく前から松葉が周りのお宅の屋根に落ちていたとのこと。

と。今まではご近所さんの理解を頂いてきたようですが高齢になり松葉処理の為に屋根に登れなくなつたとお話を頂いたそうです。これは迷惑をかけている以上伐採することに同意しました。

さて桜ですがこれには悩みました。桜の木はそろそろ寿命みたいとのこと。専門家でもないですし寿命と言われても、福島県の三春のシダレザクラは樹齢推定千年と

いわれる桜もあります。ただ種類によって違いがあるようです。さて水高の桜は樹齢何年目なのか。ソメイヨシノは手入れをしないと六・七十年ともいわれている。水高百年史の中にあるグラウンド完成

時昭和二十六年ころの写真を見るとすでに桜と思われる木々が写っている。やはり寿命なのか。

現物を見た方が早いと思ふ敷地の周りを見てみたら、幹をみると表皮が大分剥がれているのが多々

ある上に道路にはみ出している木も数本ありました。どうも我々は関心が桜の花に集中し幹には無関心だったようです。危険なものもあり伐採やむなしとしました。

一応費用は県費だそうですが、新しく植樹には出ないとの返事でした。ついでお知らせしますが、校舎裏のブロック塀も倒壊の恐れのため県費で金網の物と交換することも決まっております。昨年の大阪での地震による痛ましいブロック塀の悲劇の影響かと思われ。今回感じたことは、樹木に限らず校内にある物に在学中の思い出がありその光景が浮かんでくるものだという事です。校門・校舎・廊下・教室・講堂・部室・グラウンド・職員室等々皆さんもどうでしょうか。

早いもので来年が創立百十周年にあたります。同窓会としても何か在校生の皆さんと共に節目の行事をしたいと思っております。この際桜の植樹も事業の一つに考えてもいいかなと思っております。平成最後の年、そして新しい年号と共に記念植樹もいいのではないのでしょうか。

ご挨拶



校長 立花 起一

同窓生の皆様、日頃より水高生のために多大なご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。本校の卒業生は今年度の卒業生を加えますと2万3千7百名を超える人数になります。このように多くの先輩諸氏の存在は、在校生にとって心強いものであり、また皆様の各分野でのご活躍には大いに刺激を受けているところで

す。現在の水高生も先輩方と同様に、勉学と部活動に毎日一生懸命に取り組んでいます。その結果、運動部では、県高総体で66年ぶりとなる団体優勝を飾った女子卓球部、国体少年男子62kg級ジャークで全国3位のウエイトリフティング部平

塚君をはじめ、各種大会等で躍動する姿を見せてくれています。文化部では、全国高等学校文芸コンクール俳句部門で最優秀賞の文芸・短詩部の菅原さんをはじめ全国的な文芸コンクールでの入賞や、音楽部の全日本合唱コンクール東北大会出場など、文化活動の面でも水高生の活躍を目にすることができました。また、本高生による自発的ボランティア活動は年々増加しており、地域の人々に親しまれ地域活性化にもつながるものと思っています。

これらの活躍の裏には、同窓生の方々が部活動時に直接コーチしてくださることや、水龍館での合宿や東北・全国大会出場の際の経

済的支援など、同窓生の皆様の様々なサポートや激励があつてのことです。ある同窓生の方から、新聞に水高の名前を見つけると嬉しくなってしまうとの話を伺ったことがあります。今後とも、文武両道の道を進む在校生の姿を多く見てもらえるよう生徒、教職員一同努力して参りたいと思っております。

さて、去る12月1日に、水高卒業50周年を迎えられた方々が校舎見学に来ていただきました。在学当時、第一体育館のみが新築で、他の校舎は平屋の兵舎のような古い建物であったとのこと。教室は男女別々なため、中央廊下を女子生徒が歩くと男子生徒の注目の的であつたと、当時を懐かしく思い出されていらつしやいました。皆さん級友との久しぶりの再会に大変生き生きとし、高校生に戻つたような表情でした。水沢高校を深く想っていたに、こちらにも感激した次第です。

見学の中で、教室にエアコンは付いているのかとの質問がありました。岩手の高校の場合ほとんど設置されていないのが現状です。ただ、他校と比較して、本校は同窓

生の皆様の援助があり、志学館・水龍館などの集会や講義で使用する場所はエアコンにより勉強しやすい環境となっています。小中学校では教室にエアコンが設置されることですので、高校への設置も時代の流れでしょうからこれらの情勢を注視しているところで

す。今後の社会はAIやIoT等の技術の急速な発展に伴うソサイアティ5.0が到来するといわれています。高等学校においては、様々な課題に対し多様な他者と協働しながら解を見出していく能動的な学ぶ姿勢が求められます。それは、まさに本校のSSH事業が目指していることでもあり、課題研究がその役目を果たす原動力と捉えています。水高108年の歴史を背に、このような特色ある教育実践を行っていきたくと考えています。

同窓生の皆様には今後ともお力添えを頂き、ご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

同窓会総会

今年度の総会は、8月11日(土)水沢グランドホテルで開催されました。

総会・講演会46名、懇親会54名と、多くの同窓生が出席しました。

14時からの総会では、長野同窓会会長、立花校長の挨拶の後、平成29年度の事業報告並びに決算報告、28年度事業案及び予算案について、協議・承認されました。

15時からは明治神宮国際神道文化研究所主任研究員の今泉宜子(よしこ)さん(平成元年3月卒業・高校41回生)から『二〇二〇年の明治神宮〜一〇〇年の森に学ぶ歴史〜』と題した講演をいただきました。

今泉さんは東京大学教養学部比較日本文化論学科卒業し、雑誌編集者、ロンドン大学SOAS博士課程、フランス国立社会科学高等研究院客員研究員などを経て現職に就いています。明治神宮と森の歴史を専門としていらっしゃるから、講演は、『二〇二〇年東京オリンピック』で注目される神宮外苑エリアの来歴を中心としながら、一見無関係と思われる胆江地区との関わりも含んだ内容となり、出席者から好評を得ました。

17時からは懇親会を開催し、世代を超えた会員間で親睦を深めることができました。

「同窓会総会」への出席を勧誘すると、「それって、名士や大先輩が集まるのでしょ？」と断られることがほとんどです。同窓会事務局は、この会を年齢や立場を超え、「水沢高校の思い出」を共有するだけで集う、平たい場にしたいたいと考えています。

校歌を歌うことから懇親会が始まります。来年度の総会案内を本同窓会報の末ページに掲載しています。多くの出席者で盛大に校歌を歌えることを期待しています。



仙台支部総会

仙台支部総会が11月4日、長野耕定同窓会会長、吉川彰彦副校長、事務局の佐藤貴之先生をお迎えし、宮城野区内のホテルで開催されました。村上栄一支部会長(48年卒)の挨拶、吉川副会長から生徒の現状を詳しく説明をいただきました。

日曜日の昼食会として定着している交流会には40名が参加。「水高NOW」と題した写真紹介では佐藤貴之先生との掛け合いで、水高の新鮮情報を共有できました。また、参加できなかった方のコメントも資料として提供。年一回の往復ハガキではありますが、「高齢になっても水高とのつながりを感じて嬉しい」とのご意見もありました。

今回は関東支部の工藤康博副会長もお越し頂き、水高ホームページ運営の苦勞、皆さんにもっと使ってほしいとのお話がありました。関東支部との交流は一昨年に「逍遙歌」という本の出版がご縁です。逍遙歌作詞の阿部庄一郎先生の二女、二男が関東支部、長男が仙台支部を支えてきたという歴史もありました。

昼食会は役員が所用で参加できなくなり、人手不足の中でスタート。川橋晴子さん(57年卒)、伊藤さやかさん

ん(59年卒)の副会長が受付、司会進行は平成5年卒業の石川嘉洋さんが急遽対応へ。先輩方には温かく見守っていただきました。

仙台支部では名簿管理の難しさから年会費制度は設けておらず、資金確保が課題でした。試みとして「通信費への寄付」を呼びかけたところ、4万3千円の協力がありました。これからも相互交流、相互支援により、「楽しい同窓会」を新しい水高卒業生に引き継ぎたいと考えております。

(佐々木伸・48年卒)



盛岡支部総会

盛岡支部総会は、平成30年7月13日(金)ホテルルイズにて開催致しました。

本部から長野会長、学校からは同窓会事務局の谷木教諭と佐藤教諭に御出席頂き、参加者は18名でした。

総会は、八重樫勝支部長の挨拶に続き、長野会長から祝辞を賜りました。

総会後の懇親会に際し、昭和31年卒の長岡わか様から開会の言葉を頂戴しました。長岡様は現在も現役の学生(通信教育)という事で、後輩一同、生涯学習を実践されておられる長岡様の姿勢に感銘致しました。

乾杯の発声は副支部長の千葉務様から頂戴し、昭和48年卒業の参議院議員の平野達男様、昭和47年卒業の岩手県議会議員の小野寺好様を始め、全員から近況報告等を頂きました。

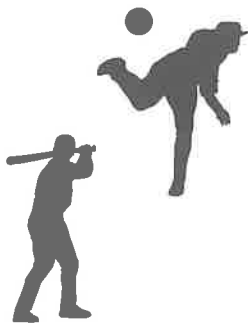
今回も人数は少なかつたものの盛り上がりだった総会になりほつとしたところですが、大リーグで

最後になりますが、大リーグで

活躍の地元の大谷翔平選手を始めとして、岩手県出身者のスポーツ・文化面の活躍は著しいものがあり、改めて母校の奮起・活躍に期待しているところです。特に高校野球については、県営球場を中心に開催されることから、勝ち進むことにより同窓生の一体感も増し、盛岡支部同窓会への参加者増にも繋がることと考えるので、活躍を期待しております。

盛岡市内及び近郊の皆様におかれましては、平成31年の盛岡支部総会日程が決まり次第お知らせ致しますので、日程を調整の上、一人2人以上の同窓生をお誘いの上、出席していただきますようお願い致します。

(盛岡支部事務局長 佐藤 秀公 昭和54年卒)



屋内運動場「昇龍館」看板設置

及川源悦郎様のご厚意で、(株)及源鑄造製作の鋳物看板を寄贈いただき、12月に設置しました。

これは、従来あつた菅原義子さん(昭和37年卒 高校14回生 元奥州市教育長、現 奥州市文化振興財団理事長)揮毫の「昇龍館」の看板が経年により傷んできたため、その文字を生かしながら再製作いただいたものです。従来のものより重厚で気品あるものとなりました。

岩手県立水沢高等学校
創立百周年記念屋内運動場



現役生の活躍

女子・水沢66年ぶりV



女子団体決勝 水沢一専大北上、卓の合ったプレーでダブルス戦に勝利。66年ぶりの優勝を決めた水沢の小川真由(右)と新池愛蘭(一関市総合体育館)

3年生大一番に底力

66年ぶりに勝利の女神をめぐると、歓喜の輪が広がる。ダブルス戦、小学生の切り打てた。互いに押しつないだ。人はあつんの呼吸でさびい、アスのボールを、サプが跳れて失点が続いた場面では、新池監督の助言でリズムを取り戻した。その後の専大北上の追い上げをかみ取った。

新池監督は、小川真由と新池愛蘭の2人が、小学生時代からダブルスを得意とし、現在は県内トップクラスの選手に成長した。小川真由は、3年生でインターハイ団体戦に出場し、大会で優勝した(新報)。

高総体 卓球女子団体優勝
岩手日報 平成30年6月3日付

俳句甲子園

来年は栄冠つかんで



俳句甲子園全国大会に14年連続で出場した水沢高校文芸部、柏崎南

14回連続出場の水沢高校文芸部 短詩部 引退3年生後輩へ望み

水沢高校文芸部短詩部は、今年で引退3年生の後輩へ望みを込めて、14年連続で出場した。水沢高校文芸部短詩部は、今年で引退3年生の後輩へ望みを込めて、14年連続で出場した。

水沢が全国切符



俳句甲子園 部員、さらなる飛躍期す

俳句甲子園 全国大会出場決定
岩手日日
平成30年6月17日付

俳句甲子園

Bチーム奨励賞・軍司彩里さん優秀賞

胆江日日新聞

平成30年8月29日付



平成31年で2年連続2回目の優勝に輝いた水球チーム



全国選抜が期待される水沢の2年生3人。(左から)松内亜寿香、菊池百花、小嶋美紗子

水沢が2年連続V

対学抗校

重要駆け
水沢高校は、初の全国選抜メンバーに松内亜寿香、菊池百花、小嶋美紗子の3人が選ばれた。

全国選抜見据え

水沢 女子

水沢高校の水球部は、平成30年度から平成31年度にかけて、2年連続で全国選抜大会に出場する。この大会は、全国の高校から選抜された選手たちが一堂に集まり、激しい戦いを繰り広げる。水沢高校の水球部は、この大会で優勝を達成し、2年連続で全国選抜大会に出場する。これは、水沢高校の水球部にとって、歴史的な快挙である。

ウエイトリフティング部
新人戦学校対抗2年連続優勝
胆江日日新聞 平成30年11月8日付



NHK全国学校合唱コンクールと全日本合唱コンクールの東北大会に出場する水沢高合唱部

水沢高音楽部

自分たちらしく伸び伸びと

NHK 合唱コンクール2大会 全日本

響け歌声 東北へ挑む

水沢高音楽部は、NHK全国学校合唱コンクールと全日本合唱コンクールの東北大会に出場する。合唱部員たちは、自分たちらしく伸び伸びと練習を重ね、東北大会で好成績を収めたいと意気込んでいる。

音楽部
NHK、全日本、2大会で東北大会へ出場
胆江日日新聞
平成30年9月8日付

俳句・最優秀賞
菅原わかばさん(水沢)



独特な視点と擬態語

「自分には決めない句を羨しきながら作ってみたい」とお悩みを伺う菅原わかばさん

俳句部で最優秀賞を獲得した菅原わかばさん。彼女は、独特な視点と擬態語を駆使した俳句を創作している。菅原さんは、俳句を通じて、自分の気持ちを表現し、読者の心に響かせることを目指している。

「フラスコの底にもたりと残暑かな」

全国高校文芸コンクール 俳句・最優秀賞
岩手日報 平成30年12月8日付

'18 クローズアップ

※1月末日までに岩手日報に掲載された記事を集めております。他紙のものやチェック漏れで掲載できなかったものについてはご容赦下さい。

東京発 いわて 人財 財力

話題を築めるテニスの大坂なおみ選手や錦織圭選手、卓球の石川佳純選手らスポーツ選手、モデルのマネジメンからスポーツ契約、イベント企画運営、テレビ、インターネット番組の制作、販売などを手掛けるインターナショナル・マネジメント・グループ（IMG、本社・米国・奥州市出身の菊地広哉さん60）は同社の日本における代表者を務める。

広哉代理店大手の博報堂で「リーグの立ち上げなどに携わり、外資系企業を経て、2004年にIMGに入社した。当時、選手マネジメンがメインだった東京支社の業務を徐々に拡大。現在は選手マネジメント以外が収入の約8割を占めるが、今もアスリートファーストを強く心掛ける。

代表として各語の統括のパートナーの米国入りに「イメージアップの姿勢で仕事に取り組む」と評価されるのは「若くは少し粘り強さのおかげ」と自己分析。仕事面でも「選手と関わりを持たないとダメ」としている。若手もスポーツを愛しむ環境がさらに広がってほしいと願む。（第2、第4月曜日掲載）

選手第一の姿勢貫く

「アスリートファーストの姿勢を大切にしたい」と語る菊地広哉さん

菊地 広哉氏（さくち こうが）
や 叔父文学部卒。引年神楽堂入社。CEチーフ生命衛生広報部長。マニクロソフトMSN専業部長。ケイティンクディレクターを経て、04年、IMGに入社。現在の役職は、IMG東京支社ニータイスプレザン・ト・マネージングディレクター・シヤパン。奥州市江刺出身。60歳。神奈川県在住。

と、関連したイベントや番組等に携わり、多くの人が喜んでくれる」と強調する。

交遊相手の米国入りに「イメージアップの姿勢で仕事に取り組む」と評価されるのは「若くは少し粘り強さのおかげ」と自己分析。仕事面でも「選手と関わりを持たないとダメ」としている。若手もスポーツを愛しむ環境がさらに広がってほしいと願む。（第2、第4月曜日掲載）

スポーツは楽しむべきもの。気軽に参加したり、応援してほしい。

いわて人財力 IMG日本代表 菊地広哉 (高28回・昭和51年卒) 岩手日報 平成30年9月24日付

スポーツ医五輪視野

奥州・水沢の長野さん

IOCの認定を受ける 地元から予防医療推進

奥州市水沢佐倉河のながの内科クリニック院長の長野雅史さん(55)は奥州市水沢大町には、国際オリンピック委員会（IOC）のスポーツドクター・プログラムを修了し、日本人が初めて、世界では約200人が修了した認定制度。当院は地元病気がけがを予防するための健康スポーツを推進する考えだが、医療スタッフとして2020年東京五輪に協力することも視野に活動する。

長野さんはオンライン上で2年間、スポーツ外傷や緊急時の対応トレーニング、老年医学、健康スポーツなどを幅広く学び、8月付で修了証を受けた。

4月はカナダ・カルガリーで開催されたワークショップ形式の研修にも参加。スポーツドクタープログラムの修了は、東京五輪は気になる大会。今のところ、チームドクターとして競技スポーツに携わりたいという考えはないが、東京五輪に合わせた形で関わりたいという考えもある。海外から訪れる人も多いと思うので、会場の医療スタッフの一員として携わりたいという思いがある。

スポーツ医認定 長野雅史 (高55回・平成15年卒) 岩手日報 平成30年10月24日付

県内指導者に卓球論を語る 奥州出身・伊藤さん

○奥州市胆沢小山出 会長に指導を受けた。自身の卓球コラムニスト伊藤条太さん(54)は仙台市在任の講演会は3日、盛岡市内の催事場で開かれた。県内の指導者約40人に昭和の卓球や技術論を軽妙なトークを交えて紹介した。写真

卓球は1960年代からバックハンド側が弱点と「ラリーが続かないことを嫌い、ランダムなボールに対する練習をしてこなかった」と考察した。

曲走路 動きも説明。日本の

創立70周年を迎えた県高体連卓球専門部(小原貴人部長)が主催。伊藤さんは奥州・旧小山中で卓球を始め、水沢高では県卓球協会の柏山徹郎副

盛岡市内の催事場で開かれた。県内の指導者約40人に昭和の卓球や技術論を軽妙なトークを交えて紹介した。写真

卓球は1960年代からバックハンド側が弱点と「ラリーが続かないことを嫌い、ランダムなボールに対する練習をしてこなかった」と考察した。

曲走路 動きも説明。日本の

創立70周年を迎えた県高体連卓球専門部(小原貴人部長)が主催。伊藤さんは奥州・旧小山中で卓球を始め、水沢高では県卓球協会の柏山徹郎副

県内指導者に卓球論を語る 伊藤条太(高34回・昭和58年卒) 岩手日報 平成30年11月4日付



後輩も頑張っています



最近 3 年間の進路状況

卒業年				卒業年				卒業年				卒業年			
学校名等	30	29	28	学校名等	30	29	28	学校名等	30	29	28	学校名等	30	29	28
旭川医科大		1		新潟県立看護大				東京国際大				早稲田大	2	1	1
帯広畜産大				長岡造形大				目白大	1	1		神奈川大	2	4	3
北海道教育大	1	3	6	富山県立大				ものつくり大			1	神奈川工大		2	1
小樽商大	1	2		富山県立大				日本医療科学大		2		鎌倉女子大		3	
北見工大	1	1	5	富山県立大				西武文理大	1			関東学院大	2		3
北海道大	2	1	1	富山県立大				国際武道大			1	中央学院大			
室蘭工大		4	3	富山県立大				法政大			2	桐蔭横浜大			1
弘前大	5	8	1	富山県立大				城西国際大	2			名古屋芸大	1		
岩手大	25	21	21	富山県立大				亀田医療大	1			金沢工大		1	1
東北大	11	3	7	富山県立大				千葉工大	2	4	3	北陸大			
宮城教大	2	1	1	富山県立大				千葉工大	1			慶應義塾大		1	
秋田大	3	6	6	富山県立大				帝京平成大	2	2	1	文化学園大			
山形大	5	9	9	富山県立大				秀明大	3	2		相模女子大			2
福島大	2		6	富山県立大				植草学園大	1			京都産大			4
茨城大	1	3	5	富山県立大				青山学院大	1	1	2	同志社大			
筑波大	1			富山県立大				亜細亜大	1		3	立命館大		1	2
京都宮大	3	5	3	富山県立大				桜美林大	1		2	関西大			
群馬大	1	3		富山県立大				江戸川大	1			関西外大			
埼玉大	1	3	1	富山県立大				大妻女子大	3		2	神戸学院大	1		
千葉大	1	1	1	富山県立大				獨協大		2	3	兵庫医大	1		
東京海洋大				富山県立大				北里大		1		新潟医療福祉大			2
お茶の水女子大				富山県立大				国際基督教大	1			新潟薬科大		1	
電気通信大	1	1		富山県立大				聖学大				麻布大			1
東京医科歯科大			1	富山県立大				神田外語大				東洋英和女学大			1
東京外大		1		富山県立大				東京医療保健大				吉備国際大			2
東京工業大	1			富山県立大				芝浦工大	1	3	3	愛知学院大			2
東京農工大	1	1	1	富山県立大				東京工科大		3	1	びわこ成蹊大		2	
東京学芸大	1	1	1	富山県立大				国学院大				合計	199	231	238
東京海洋大				富山県立大				国士舘大			5	名寄市立大短大			
一橋大		1		富山県立大				駒澤大			2	岩手県大宮古短	1	3	5
新潟大	2	1	1	富山県立大				駒沢女大				岩手県大盛岡短	1	2	5
新潟大		2	1	富山県立大				拓殖大			4	山形県米沢女短	2	3	1
富山大	1			富山県立大				順天堂大			2	会津大短大部	1	4	3
山梨大	2			富山県立大				女子栄養大			2	大月短大	1	4	3
信州大	1	1	1	富山県立大				成蹊大		1		川崎市立看護短			1
岐阜大			1	富山県立大				成城大	2	1	1	静岡県大短大部			1
静岡大	1		2	富山県立大				専修大	1	1	2	大分県芸術文化短			
愛知教育大				富山県立大				白百合女子大	1			合計	6	17	18
高知大				富山県立大				創価大			1	新渡戸文化短			1
豊橋技術科学大				富山県立大				大正大		1		札幌大女短大部			1
名古屋大				富山県立大				高千穂大			1	青森明の星短			1
京都大				富山県立大				フェリス女大	2		1	盛岡大短大部		3	
京都工芸繊維大				富山県立大				玉川大		1	1	修紅短		1	
和歌山大				富山県立大				中央大	1	1	4	仙台青葉学院短	1	3	
愛媛大				富山県立大				津田塾大		1	1	東北文教大短大		1	
長崎大	1			富山県立大				帝京大	5	4	3	立教女学院短			1
琉球大				富山県立大				帝京科学大			2	帝京短		1	
国立大学合計	77	82	84	富山県立大				帝京平成大				鎌倉女子大短大部			1
ほこだて未来大				富山県立大				東海大	4	7	3	有明教育芸術短大			1
札幌市立大		1		富山県立大				東京経済大		1		高崎商大短大部			1
釧路公立大	1	3	9	富山県立大				東京成徳大	1			其立女子短大		1	
名寄市立大	1	1	5	富山県立大				東京福祉大		1	1	常葉大短大部		1	
青森県立保健大	5	2	2	富山県立大				東京女子医大	1			合計	4	10	5
青森公立大	1	3	4	富山県立大				東京電機大		2		県立一関高看	3	1	4
岩手県立大	6	8	10	富山県立大				東京医療学院大	1	1		仙台医療附看護助産	1	1	2
宮城大	4	2	3	富山県立大				東京農大	3	3		気仙沼市立看護専門			3
秋田大	1		1	富山県立大				東京理大	3	3	5	昭和大学医学部附属看護専門			1
秋田公立英大	1			富山県立大				東京聖栄大			1	聖マリヤンナ医科大学看護専門			1
国際教養大				富山県立大				東洋大	2	1	4	岩手看護専門学校			1
山形県立保健医療大			1	富山県立大				日本大	4	13	11	花巻高看		1	1
山形県立米沢栄養大			1	富山県立大				工学院大				埼玉立高専看護学院			1
福島県立医大				富山県立大				文化学園大		1		県立宮古高看			1
会津大学	2			富山県立大				日本女子大	1			水沢学苑看護専門学校	1	2	1
前橋工大	4		1	富山県立大				日本体育大	1			徳島県立平塚看護専門学校			1
群馬県立医療大	1			富山県立大				文教大	1	2	2	都立南多摩看護専門学校			1
群馬健康科学大				富山県立大				文京学院大		2	2	都立北玉看護専門学校			1
群馬県立女子大				富山県立大				法政大	3	2	2	岩手リハビリテーション学院	1		1
高崎経大	1	5	1	富山県立大				明治大	4	6	3	千葉県立動物看護専門学校			1
埼玉大				富山県立大				明治学院大	2			仙台徳州看護専門	1		
千葉県立保健医療大				富山県立大				東京女子大			1	仁愛看護専門学校			1
首都大東京		1	1	富山県立大				名城大		1		その他医療系専門学校	3	2	4
神奈川県保大		1		富山県立大				明星大	3			その他専門学校	5	8	1
横浜国立大				富山県立大				立教大	2			合計	15	20	23
新潟県立大	1	1		富山県立大				立正大	2			公務員	3	3	2
				富山県立大				ルーテル学院大	1			民間就職			
				富山県立大								合計	3	3	22

平成30年度部活動の記録

運動部

県大会ベスト8以上

陸上部

第70回若手県民体育大会
 4部400mH 小野寺俊太 第2位
 9部やり投げ 岩淵 渚央 第3位
 10部100mH 小野寺茉莉 第3位
 平成30年度若手県高等学校新人大会
 400mH 小野寺俊太 第6位
 1000mH 小野寺茉莉 第6位

バスケットボール部

【女子】
 平成30年度若手県高等学校新人大会 ベスト8
 平成30年度若手宮城対県選抜大会 ベスト4

卓球部

【女子】
 第70回若手県高等学校総合体育大会
 団体 優勝
 個人 (東北大会、インターハイ出場) 第1位
 シングルス 菊池 愛蘭 第1位
 ダブルス 小川 真由 第9位(東北大会出場)
 菊池 愛蘭・小川 真由 第2位
 (東北大会、インターハイ出場)

第72回東北高等学校卓球選手権大会
 団体 1回戦 水沢 3-1 東奥学園(青森)
 2回戦 水沢 1-3 鶴岡東(山形)
 個人 シングルス 1回戦 小川真由 3-0 東奥学園(青森)
 2回戦 小川真由 0-3 郡山女子(福島)

第58回若手県高等学校新人バドミントン大会
 (男子団体) 2回戦 ○ 水沢 3-0 盛岡第三 ●
 3回戦 ○ 水沢 3-2 西和賀 ●

菊池愛蘭 3-1 鶴岡北(山形)
 3回戦 菊池愛蘭 1-3 弘前美業(青森)
 ダブルス 菊池・小川 3-2 秋田(秋田)
 2回戦 菊池・小川 0-3 郡山女子(福島)
 3回戦 菊池・小川 0-3 明誠(島根)
 個人 シングルス 菊池愛蘭(1回戦敗退)
 ダブルス 菊池愛蘭・小川真由 (1回戦敗退)

ソフトテニス部

【男子】
 第70回若手県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技 ベスト8
 第63回若手県高等学校新人大会ソフトテニス競技 ベスト8
 第50回若手県高等学校選抜室内ソフトテニス大会 ベスト8
 団体 (東北大会、インターハイ出場) 第1位
 シングルス 菊池 愛蘭 第1位
 ダブルス 小川 真由 第9位(東北大会出場)
 菊池 愛蘭・小川 真由 第2位
 (東北大会、インターハイ出場)

バドミントン部

第58回若手県高等学校新人バドミントン大会
 (男子団体) 2回戦 ○ 水沢 3-0 盛岡第三 ●
 3回戦 ○ 水沢 3-2 西和賀 ●

サッカー部

【男子】
 第70回若手県高等学校総合体育大会 ベスト8
 第97回全国高等学校サッカー選手権 岩手県大会 ベスト8
 【女子】
 第70回若手県高等学校総合体育大会 第3位
 平成30年度若手県高等学校新人大会 第3位

ラグビー部

第70回若手県高等学校総合体育大会
 15人制・Aブロック
 1回戦 対 黒沢尻北高校 0-85 負け
 敗者戦 対 釜石商工高校 42-33 勝ち
 5位決定戦 対 不来方高校 21-29 負け
 結果：Aブロック第6位
 水沢工業高校と水沢合同チームとして出場

弓道部

【女子】
 平成30年度選抜大会県大会 団体 第3位

山岳部

第70回若手県高等学校総合体育大会 A隊(学校対抗) 第5位
 平成30年度若手県高等学校新人大会 A隊(学校対抗) 第4位
 C隊(チーム対抗) 第7位

野球部

第70回若手県高等学校総合体育大会 ベスト8

水泳部

第70回若手県高等学校総合体育大会
 女子 50m自由形 及川ちひろ 第5位(東北大会出場)

4回戦 ● 水沢 1-3 専大北上 ○
 ベスト8

女子100m自由形 千葉 栞奈 第4位(東北大会出場)
 及川ちひろ 第8位(東北大会出場)
 女子200m自由形 千葉 栞奈 第3位(東北大会出場)
 女子400m自由形 村主 愛実 第5位(東北大会出場)
 女子800m自由形 村主 愛実 第3位(東北大会出場)
 千葉結衣子 第5位(東北大会出場)
 女子4000m自由形リレー 第5位(東北大会出場)

第73回東北水泳大会・第66回東北高等学校水泳競技大会
 女子 50m自由形 及川ちひろ(予選36位/48人)
 女子100m自由形 千葉 栞奈(予選15位/45人)
 及川ちひろ(予選37位/45人)
 女子200m自由形 千葉 栞奈 第8位/9人
 女子400m自由形 村主 愛実(予選28位/46人)
 女子800m自由形 村主 愛実(予選16位/39人)
 千葉結衣子(予選32位/39人)
 女子4000m自由形リレー(予選17位/42チーム)

平成30年度若手県高等学校新人大会
 男子2000m背泳ぎ 千葉 宏太 第6位
 女子 50m自由形 及川ちひろ 第4位
 女子100m自由形 及川ちひろ 第5位
 女子4000m自由形 村主 愛実 第5位

ウエイトリフティング部

第70回若手県高等学校総合体育大会
 男子学校対抗 男子個人 第2位
 53kg級 第1位 及川 駿斗 Total 146kg
 62kg級 第1位 平塚 侑亨 Total 190kg
 85kg級 第1位 千葉 共将 Total 171kg
 105kg級 第1位 若槻 陽祐 Total 202kg

77 kg級 第2位 佐々木吉将 Total 157 kg	56 kg級 第3位 小野 来知 Total 105 kg	77 kg級 第3位 菊池 悠斗 Total 142 kg	女子個人 第1位 菊池 百花 Total 133 kg	63 kg級 第1位 小原実紗子 Total 125 kg	53 kg級 第2位 松内亜寿香 Total 110 kg	58 kg級 第2位 倍賞 優香 Total 117 kg	第38回東北高等学校ウエイトリフティング 男子個人 (Total 6位入賞者) 53 kg級 第4位 及川 駿斗 Total 144 kg (S 65 kg C & J 79 kg)	62 kg級 第2位 平塚 侑亨 Total 210 kg (S 90 kg 3位)	105 kg級 第4位 若槻 陽祐 Total 196 kg (S 86 kg C & J 110 kg 3位)	女子個人 第6位 松内亜寿香 Total 110 kg (S 45 kg C & J 65 kg 3位)	58 kg級 第5位 倍賞 優香 Total 117 kg (S 53 kg C & J 64 kg)	63 kg級 第2位 菊池 百花 Total 131 kg (S 61 kg 2位 C & J 70 kg)	第18回赤坂杯争奪ウエイトリフティング 技大会 (国体選考会) 1年生の部 56 kg級 第1位 小野 来知 Total 110 kg	62 kg級 第1位 近藤 駿 Total 118 kg	77 kg級 第1位 菊池 悠斗 Total 148 kg	女子63 kg級 第2位 菊池 春乃 Total 191 kg	少年男子 第1位 平塚 侑亨 Total 211 kg (C & J 121 kg 大会新)	85 kg級 第1位 千葉 共将 Total 173 kg
105 kg級 第1位 若槻 陽祐 Total 205 kg	56 kg級 第2位 及川 駿斗 Total 148 kg	62 kg級 第3位 伊藤 夕緋 Total 157 kg	団体2位 菊池百花 Total 160 kg	63 kg級 第1位 小原実紗子 Total 136 kg	69 kg級 第1位 松内亜寿香 Total 126 kg	53 kg級 第2位 松内亜寿香 Total 113 kg	63 kg級 第3位 小沢 美咲 Total 106 kg	第20回全国高等学校女子ウエイトリフティング 53 kg級 松内亜寿香 32位 58 kg級 倍賞 優香 31位 S 53 kg C & J 67 kg Total 120 kg	63 kg級 菊池 百花 Total 128 kg	69 kg級 小原実紗子 15位 S 57 kg C & J 71 kg Total 128 kg	平成30年度全国高等学校総合体育大会 53 kg級 及川 駿斗 28位 S 64 kg C & J 80 kg Total 144 kg	62 kg級 平塚 侑亨 8位 C & J 122 kg (6位) Total 208 kg	105 kg級 若槻陽祐 24位 S 87 kg C & J 110 kg Total 197 kg	第45回東北総合体育大会 62 kg級 平塚 侑亨 2位 S 88 kg C & J 117 kg Total 205 kg	85 kg級 千葉 共将 5位 S 76 kg C & J 102 kg Total 178 kg	105 kg級 若槻 陽祐 3位 S 88 kg C & J 115 kg Total 203 kg	第73回国民体育大会 62 kg級 平塚 侑亨 8位 S 91 kg C & J 125 kg (3位) Total 216 kg	第53回岩手県高等学校新人ウエイトリフティング 男子学校対抗 優勝 (2年連続2回目) 男子個人 第1位 及川 駿斗 Total 157 kg

《文化部》

69 kg級 第1位 佐々木吉将 Total 178 kg	85 kg級 第1位 千葉 共将 Total 190 kg	105 kg級 第1位 若槻 陽祐 Total 207 kg	77 kg級 第2位 菊池 悠斗 Total 166 kg	62 kg級 第3位 近藤 駿 Total 147 kg	69 kg級 第3位 伊藤 夕緋 Total 166 kg	女子個人 第1位 松内亜寿香 Total 122 kg	53 kg級 第1位 菊池 百花 Total 140 kg	63 kg級 第1位 小原実紗子 Total 139 kg	63 kg級 第3位 小沢 美咲 Total 118 kg	第10回全日本女子選抜ウエイトリフティング 53 kg級 松内亜寿香 S 48 kg (26位) C & J 71 kg (16位) Total 119 kg (19位)	63 kg級 菊池 百花 S 60 kg (13位) C & J 80 kg (11位) Total 140 kg (11位)
----------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	--------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	---	--

音楽部

第85回NHK全国学校音楽コンクール岩手県コンクール 金賞(東北ブロックコンクール出場)	第70回全日本合唱コンクール岩手県大会 銀賞(東北支部大会出場)	第85回NHK全国学校音楽コンクール東北ブロックコンクール 奨励賞	第70回全日本合唱コンクール東北支部大会 銅賞(6年連続出場で5年ぶりの入賞)	第28回岩手県合唱小アンサンブルコンテス 金賞
---	-------------------------------------	--------------------------------------	--	----------------------------

書道部

第41回岩手県高等学校総合文化祭書道部門
第1種漢字・仮名

写真部

岩手日報社主催 第24回高校生フォトコンテスト
第4席 佐々木紅葉
平成30年度岩手県高等学校文化連盟写真専門部主催夏季写真コンテスト
入選 石川菜里奈
入選 宮里 日菜
平成30年度第41回岩手県高等学校総合文化祭写真部門第37回岩手県高等学校写真展
優秀賞 石川菜里奈
平成30年度岩手県高等学校文化連盟写真専門部主催スライドフォトコンテスト
入選 宮里 日菜
入選 高橋 明花
入選 小山あずさ

文芸・短詩部

第60回啄木祭全国俳句大会
高校生の部
馬場吉彦先生選
特選(天) 【啄木祭賞】菅原わかば
特選(地) 齋藤 陸斗
特選(人) 柳清 未羽
大畑善昭先生選
特選(地) 村上 外山 歩佳
特選(人) 瑛(卒業生)
白濱一羊先生選
特選(人) 千田 洋平
第25回都留市ふれあい全国俳句大会
高校生・大学生部門
正木ゆう子先生入選
菅原わかば、齋藤陸斗、柳清未羽
第13回俳句一草庵
本郷和子先生特選
第21回俳句甲子園地方大会北上会場
【地方大会結果】
Aブロック 盛岡一高 中央B
水沢B 3-10 盛岡一高
中央B 0-3 水沢B
Bブロック (水沢Bが決勝へ)

中央A 112 水沢A
水沢A 112 中央A
決勝戦 (旗判定で水沢Aが決勝)
水沢B 211 水沢A
最優秀句 水沢高校 石川 颯
【投句審査結果】
水沢A通過(全国大会へ出場)
水沢A通過(全国大会へ出場)
第17回りんり俳句大賞1学期の部
高校生の部
銀賞 外山 歩佳
第21回全国高等学校俳句選手権大会俳句甲子園
予選リーグ
水沢A 211 今治西
水沢A 112 興南
水沢A 112 洛南B
(1勝2敗予選リーグ敗退)
水沢B 112 筑紫丘
水沢B 211 名古屋
水沢B 211 海城
(2勝1敗予選リーグ通過)
予選トーナメント
水沢B 213 済美平成中高
(予選トーナメント敗退)
敗者復活戦に臨むも決勝進出ならず
団体奨励賞 水沢B
個人 優秀賞(高野ムツオ選) 軍司彩里
第33回国民文化祭・おおいだ2018
「水の森全国俳句大会」
高校生の部
日田市教育委員会教育長賞 菅原わかば
岩手県高等学校文芸コンクール
俳句部門
最優秀 菅原わかば
(来年度全国高総文出場)
優秀 軍司 彩里、柳清 未羽
千田 洋平(東北大会出場)
高橋 明花(東北大会出場)
齋藤 陸斗、古前田史菜
石川 颯、外山 歩佳
戯曲部門
最優秀 浅倉 亜美
詩部門
優秀 高橋 瑞月、及川 真矢
小説部門
優秀 及川 真矢
優良 古前田史菜
入選 吉田 直生
短歌部門
入選 千田 洋平

文芸部誌部門
優秀 「煌15号」 3位相当
(東北大会出場)
第30回芭蕉蛤塚忌全国俳句大会
高校生の部
特選・大垣市長賞 吉田 琴美
第46回千代女少年少女全国俳句大会
秀逸 鈴木 萌晏
悟逸忌第29回全国俳句大会
高校生の部
特選第二席 石川 颯
小林一茶百九十二回忌全国俳句大会
高校生・大学生部門
特選 菅原わかば
第17回りんり俳句大賞2学期の部
高校生の部
金賞 千田 洋平
第21回全国高校生俳句大賞
入選 軍司 彩里、柳清 未羽
鈴木 萌晏
第16回青春俳句大賞
高校生部門 優秀賞 高橋 明花
第33回全国高等学校文芸コンクール
俳句部門
最優秀賞 菅原わかば
入選 及川 真矢 齋藤 陸斗
軍司 彩里
詩部門
優良賞 高橋 瑞月
入選 千田 洋平
第9回富士正晴全国高等学校文芸誌賞
奨励賞 「煌15号」

囲碁将棋部

第31回全国高等学校将棋竜王戦岩手県予選
個人戦 男子B戦 第3位 藤原 温紀
第42回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権
大会全国大会
安倍健太郎 個人戦予選リーグ
1勝2敗(予選リーグ敗退)
森(岡山芳泉高・岡山)
2回戦 ○清水(ラ・サール高・鹿児島)
3回戦 ●上野(開智高・和歌山)
第42回全国高等学校総合文化祭囲碁部門
団体戦 48チーム中28位(安倍健太郎
岩手県チームの大将として出場)
第27回岩手県高等学校文化連盟囲碁新人大会
男子団体 第3位

フォークロック同好会
第41回岩手県高等学校総合文化祭・第18回
怪音楽発表会
優秀賞
家庭クラブ
第68回岩手県高等学校家庭クラブ連盟研究
発表大会
優秀賞
地域から求められる活動をめざす！
〜継続研究を活かした
活動への取り組み〜



平成三十年度 職員異動

◆転出
切田 壮(英語) 花巻北
武田 宏(英語) 盛岡南
菊池 竜太(地歴公民) 大槌
及川 揚子(事務主査) 岩谷堂

◆転入
目黒 賢哉(英語) 久慈
工藤 慶文(英語) 北海道・江差
上野 秀久(地歴公民) 金ヶ崎
小菅 光恵(養護教諭) 山田

◆退職
佐藤 良子(養護教諭)
中崎 和博(国語)
岩淵 芳昭(学校技術員)

但し、定期人事異動のみ。

平成30年度激励金交付報告

今年度は、東北大会・全国大会に出場
した部に激励金として総額約36万円を支
出しました(1月末現在)。今後ますます
の活躍を期待します。

運動部
ウエイトリフティング
卓球
水泳

文化部
文芸・短詩
囲碁将棋
音楽

2019年度 岩手県立水沢高等学校同窓会総会

日時 2019年 8 月10日(土)

場所 水沢グランドホテル
水沢東町40 TEL 0197-25-8311

問い合わせ先 水沢高校同窓会事務局
TEL 0197-24-3152

※詳細は、ホームページに 6 月頃掲載しますので、ご覧下さい。
URL <http://www.imizuko.com>

水高育英会へのご寄付ありがとうございました

今年度、水高育英会へのご寄付は11名の方より総額27万円のご寄付を頂戴いたしました。ありがとうございました。これまでも多くの進学する卒業生を支えてきております。今後ともご協力をお願いします。

水高育英会寄付者(平成31年 1 月31日確認分・個人の方は五十音順・敬称略)

雨 笠 祥 子	小野田 義 人	中 田 佑	村 上 倍 達
市 川 公 太	木 村 恵 也	芳 沢 莖 子	渡 辺 主 喜
伊 藤 康 道	刀 根 勝 雄	村 上 健 一	

部活動遠征基金としてご寄付ありがとうございました

今年度、部活動振興のために水沢高校第21回生のみなさまから35万円のご寄付を頂戴いたしました。ありがとうございました。

◇事務室からのお知らせ◇

卒業生等が卒業証明書等の交付を受ける場合、手数料が必要ですが、一通あたり、400円分の岩手県収入証紙を添付して申請して下さい。

詳しくは水沢高校ホームページをご覧いただくか、事務室までお問い合わせ下さい。

編集後記

平成最後の同窓会報となります。原稿を印刷業者に提出した際、業者の方から「同窓会総会が開催される8月は平成ではありません」と指摘をいただきました。機械的に年度の数字を30から31に変更してしまいました。改めて、元号が変わるということを実感しました。さて、今年度も部活動での生徒の活躍がめだちました。卓球女子の六十六年ぶりの高総体団体優勝をはじめ、ウエイトリフティング部の新人大会学校対抗2連覇、文芸・短詩部の俳句甲子園14年連続出場、全国文芸コンクール俳句部門での最優秀賞受賞などがありました。

新しい元号のもとでも、生徒たちは学習や部活動で活躍してくれているものと期待しています。今後ともご支援、ご声援をお願いいたします。